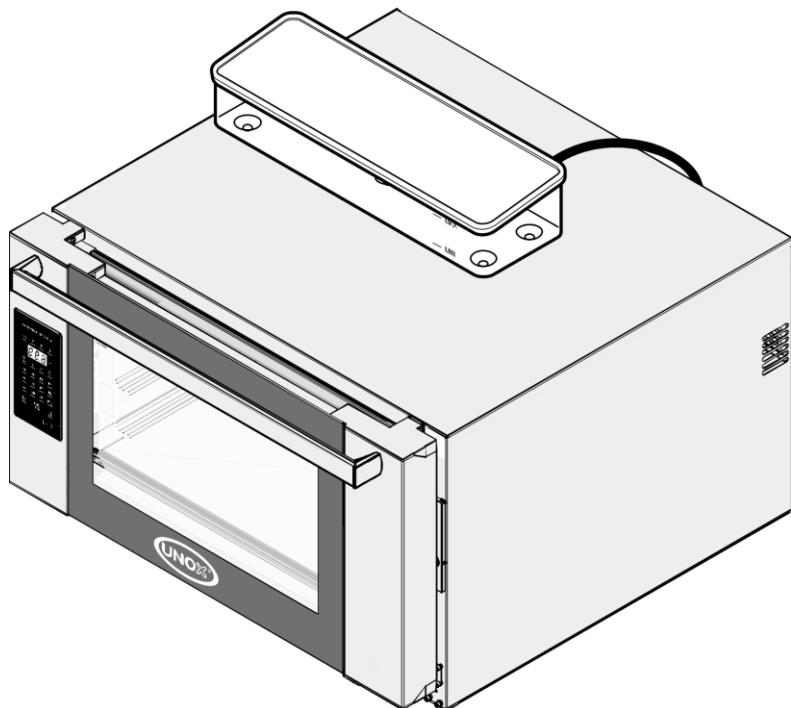


ウノックス
ベーカリーオーブン



取扱説明書

XFT-136 XFT-196
XTL-136 XLT-196
(業務用)



このたびは、当社のウノックス（ベーカリーオーブン）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

据付説明付

目 次

安全上のご注意	1～7
各部の名称	8・9
本体	8
操作パネル部	9
付属品、オプション	10
付属品	10
オプション	10
操作手順	11～21
電源を入れる	11
調理内容の設定をおこなう	12～15
食材を調理する	16～18
設定した調理内容を保存する	19・20
保存した調理プログラムを使って調理する	21
お手入れ	22～24
調理プログラムについて	25～27
保存した調理プログラムの	
設定内容の確認と修正	25
保存した調理プログラムのコピー	26
保存した調理プログラムの削除	27
ホイロ庫（オプション）	28～33
ホイロ庫でパン生地の発酵	28～31
ホイロ庫のお手入れ	32・33
点検	34
故障の症状と処置	35～38
故障かなと思ったら	35・36
エラーコードについて	37・38
据え付けについて	39～49
仕様	50～52
保証書（別添付）について/消耗部品 /補修用性能部品の保有期間	53

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警 告



専門業者

据付けは、お買上げ店、または専門業者に依頼すること

自分で据付けをされ不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線は、必ずアース端子に接続してください。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

設備側にアース端子がない場合は、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



専用電源切

本機の電源コードを専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に接続前に、漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備が『OFF（切）』になっているか確認すること

漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備が『ON（入）』の状態で、電源コードの接続作業をおこなった場合、感電する恐れがあります。



専用電源切

本機の配管、または電源コードの接続をやり直すときは、本機専用電源を『OFF（切）』にしてからおこなうこと

本機専用電源が『ON（入）』になっていますと、感電や漏水の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易いところに据え付けないこと

本体や電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本機には直接水や洗剤をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 警 告



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグ（電源プラグ使用の場合）が破損している場合は使用しないこと

そのまま使用しますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、ガタのないように確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器、またはサーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触ると、感電する恐れがあります。



接触禁止

使用中は、本機の外側も高温になるので、取手や操作部以外さわらないこと

高温になっている部分に触ると、やけどの原因になります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなど（電源プラグ使用の場合）の電気部品に触れたり、本機の操作パネル部を操作したりしないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



専用電源切

異常時は、「START/STOP」スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を『OFF(切)』にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用しないこと

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたり（電源プラグ使用の場合）すると、引火爆発し危険です。



徐々に開ける

調理終了後、扉を開けるときは、一気に開けずに徐々に開けること

扉を開けたとき、自動的にモーターブレーキが作動してファンが停止しますので、熱気や蒸気が大量に流出することはありませんが、安全のために扉は一気にあけないでください。

熱気や蒸気がかかりますと、やけどの原因になります。

⚠ 警 告



扉ガラス注意

扉のガラスは、取り扱いに注意すること
扉のガラスが割れると、ケガの原因になります。



素手禁止

調理完了直後のグリッドや天板は、素手で持たないこと
調理完了直後のグリッドや天板は、高温になっているため、素手で持ちますとやけどします。



禁止

操作パネル部は、先の尖ったものや、硬いもので押さないこと
操作パネル部を破損しますと、感電や漏電の原因になります。



毎日交換

貯水タンクに入れた水は、毎日交換すること
貯水タンク内の水が腐敗したり、雑菌が繁殖したりした場合、健康障害の原因になります。



飲料用水

貯水タンクに入る水は、飲料用のきれいな水を入れること
飲料用以外の水を入れた場合、健康障害の原因になります。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと
修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと
改造されると、ショート、感電、火災の原因になります。
庫内や機械内部からの水漏れの原因にもなります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に依頼すること
電気の配線に不備があると、感電、火災の原因になります。
給水や排水の配管に不備があると、周囲を濡らす原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること
放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



周囲空ける

本機は、隣接面から後面（電気部品側）は400mm以上、左側面は100mm以上、右側面は300mm以上離すこと

熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。



フード設備

本機の上方にフード（ダクト）を設備し、機械から出る蒸気や熱風を排気すること

フード（ダクト）を設備しないと、蒸気や熱風が部屋内にこもり、部屋の天井や壁を痛める原因になります。



飲料水用

給水に使用する水は、必ず飲料用の水を使用すること

飲料水以外の水を使用しますと、健康障害の原因になります。



防水処置

水などをこぼしてもよい所に据え付けること

使用中、扉を開けたときに付着した水などが床に落ちます。

貯水タンクに水を入れるときや貯水タンク内の水を捨てるとき、タンクから水がこぼれた場合、床面などを濡らします。

濡れると不都合な所には、据え付けないでください。



禁止

本機の上に重量物などを置かないこと

落下した場合、ケガの原因になります。



禁止

電源プラグを使用の場合、電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



挿入禁止

庫内ファンが回転しているときは、ファンカバーの隙間から、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガの原因になります。

庫内ファンや箸、スプーンなどが破損し、食材などに入った場合、異物混入の原因になります。



水道栓閉

本機から水が漏れている場合は、「START/STOP」スイッチを押して機械を止め、本機専用電源を『OFF(切)』にしてお買上げ店に連絡すること

水漏れにより、周囲を濡らす原因になります。

漏れた水が機械内部の電気部品にかかった場合、漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



開放禁止

終業後は、扉を開けたままにしないこと

ネズミや虫などが入り込みますと、異物混入や健康障害の原因になります。



指挟まない

扉を閉めるときは、指を挟まないこと

ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機専用電源を「ON（入）」にしたり、電源プラグを抜いたり（電源プラグ使用の場合）すると、発火の原因になります。



禁止

扉にぶら下がったり、乗ったりしないこと

製品が転倒した場合、ケガの原因になります。



庫内洗浄

使用後は、庫内のお手入れをおこなうこと

雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



専用電源切

お手入れのときや、点検のときは、必ず「START/STOP」スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を「OFF(切)」にすること

誤って操作パネル部に触れた場合、ケガややけどの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。



冷めるまで待つ

お手入れのときや、点検のときは、庫内が触ることができる温度まで冷めるのを待つこと

熱い状態で触れた場合、やけどの原因になります。



接触禁止

庫内が熱い状態のときは、庫内各部位に直接触れないこと

庫内に触れた場合、やけどの原因になります。



洗浄乾燥

天板など直接食材に触れる部品は、ご使用後、洗浄剤を使って洗浄したあと、十分乾燥させること

付着した食材が残っていたり、水分が残っていたりしますと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



禁止

扉のガラスは、強い力をかけたり、衝撃をあたえたりしないこと

ガラスを破損する原因になり、ガラスを破損した場合、ケガの原因になります。

⚠ 注意



禁止

扉のガラスを清掃するときは、クレンザーや金属タワシなどは使用しないこと
ガラスを破損する原因になり、ガラスを破損した場合、ケガの原因になります。



専用電源切

ご使用後は、安全のため電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を『OFF(切)』にすること

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



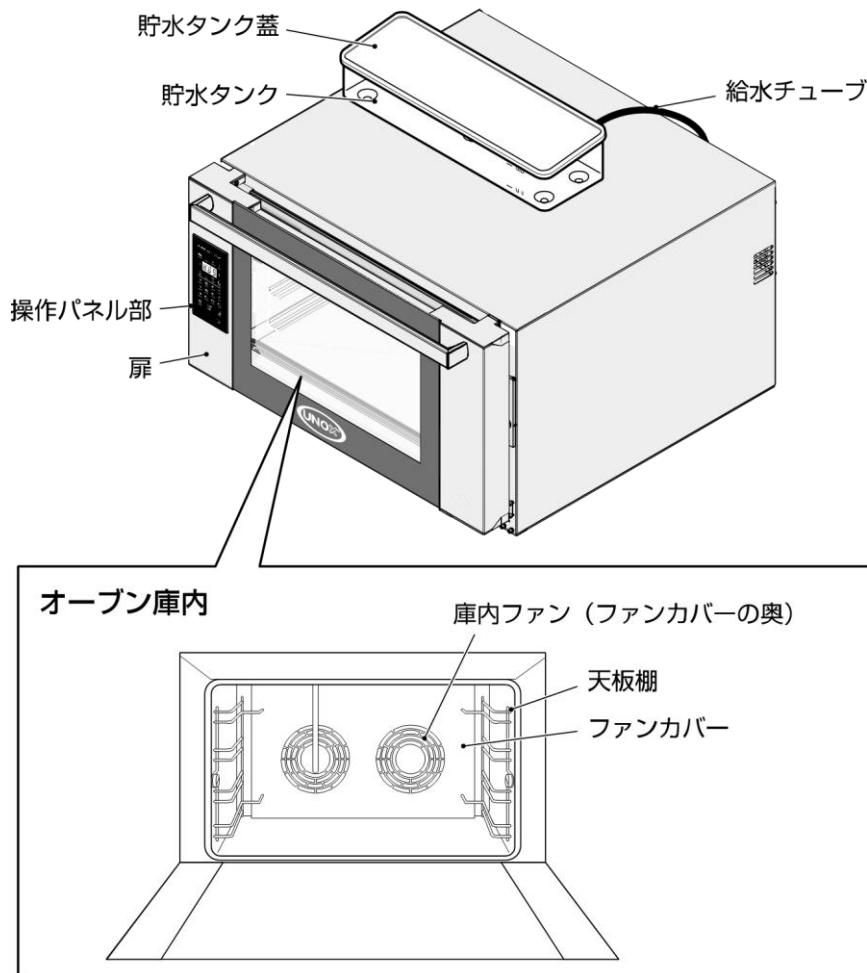
テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部の名称

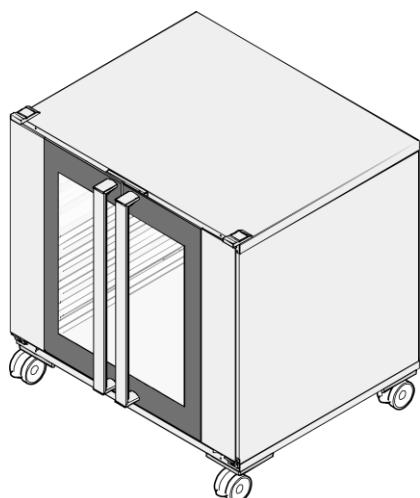
本機は、パン生地を熱風と加湿により焼成する機械です。

本体

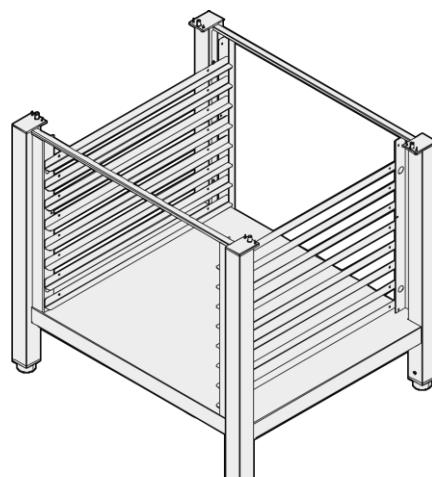


ホイロ庫（オプション）

パン生地を発酵させる機械です。
ベーカリーオーブンに接続して、ベーカリー
オーブンの操作パネル部で操作します。



専用設置台（オプション）



操作パネル部



①「PRE」スイッチ

調理内容を設定するときや、調理をおこなうときに使用します。

②ステップスイッチ

調理のステップを3件（ステップ3）まで設定することができます。

③ディスプレイ

調理時間、調理温度、加湿、ファン速度を設定するときや、調理プログラムを保存、呼出すときに、数値を表示します。

④「－」スイッチ

調理内容を設定するときに、数値を変更します。動作中に設定値を変更することもできます。押すごとに値が小さくなります。

⑤「+」スイッチ

調理内容を設定するときに、数値を変更します。動作中に設定値を変更することもできます。押すごとに値が大きくなります。

⑥「」スイッチ

調理時間の設定可能状態にします。

⑦「」スイッチ

調理温度の設定可能状態にします。

⑧「」スイッチ

加湿の設定可能状態にします。

お願い

操作パネル部は、強い力をかけたり、衝撃をあたえたりしないでください。

操作パネル部を破損する原因になります。

⑨「」スイッチ

ファン速度の設定可能状態にします。

⑩調理プログラムスイッチ

任意で保存した99種類の調理プログラムのうち、使用頻度の高い12種類をワンタッチで呼出しができるスイッチです。

調理プログラムを保存する際にも使用します。

⑪オープン切替えスイッチ

ホイロ庫（オプション）をご使用の場合、操作パネル部をホイロ庫からオープンへ切替るときに使用します。

⑫「START/STOP」スイッチ

調理を開始するときや、調理を止めると使用します。

このスイッチを約5秒間長押しすると、本機はオートパワーオフの状態になります。

オートパワーオフの状態から復帰する場合、このスイッチを押してください。

本機は15分以上何も操作をおこなわなかった場合もオートパワーオフの状態になります。

⑬オープン切替えスイッチ

ホイロ庫（オプション）をご使用の場合、操作パネル部をオープンからホイロ庫へ切替るときに使用します。

付属品、オプション

付属品



専用洗浄剤 500mL(中性洗剤) 1本



取扱説明書 1冊
(本書、据付け手順説明含む)

保証書 1部

オプション

天板 XFT-136 / XLT-136用 (幅460×奥行330mm)

天板 XFT-196 / XLT-196用 (幅600×奥行400mm)

XFT-136用専用設置台

XFT-196用専用設置台

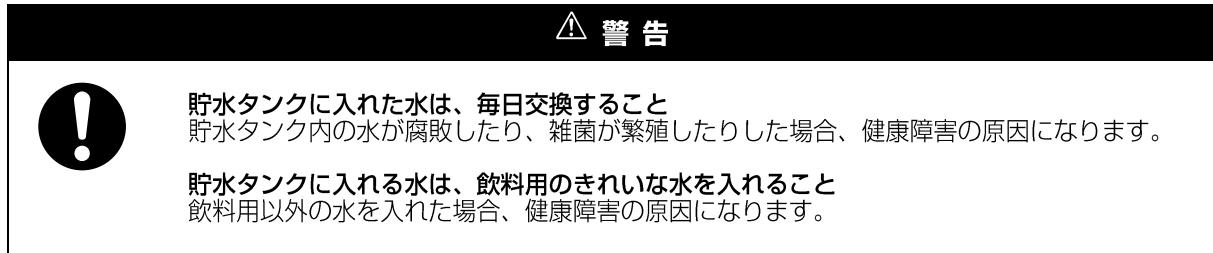
ホイ口庫 XLT-136 (XFT-136用)

ホイ口庫 XLT-196 (XFT-196用)

操作手順

電源を入れる

1. 加湿を使用する場合、貯水タンクに水を入れてください



貯水タンクに水を入れてください。

貯水タンクは、最大で6.5Lの水が入ります。

ベーカリーオーブンの給水チューブの先端（ストレーナー）

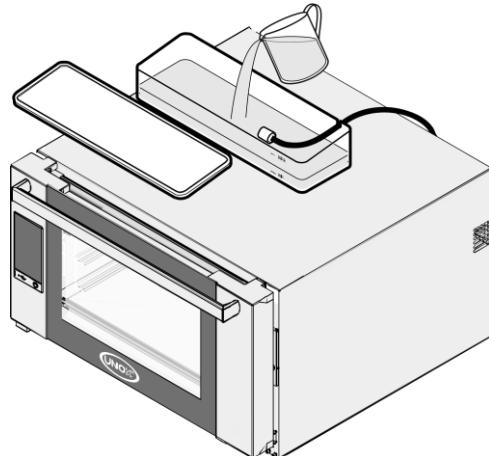
を貯水タンク内に入れてください。

給水チューブは、先端部分が貯水タンクの底に付くところ
まで入れてください。

給水チューブの先端（ストレーナー）が十分浸かる量の水
が入っていることを確認してください。

貯水タンクの縁にある切れき部分に給水チューブを通して
ください。

ホコリなどが入らないように、貯水タンクの蓋を取り付け
てください。



2. 本機専用電源を『ON（入）』にしてください

操作パネル部のディスプレイに「LED」を表示した後、「0.00」が表示されます。

庫内ランプが点灯します。



調理内容の設定をおこなう

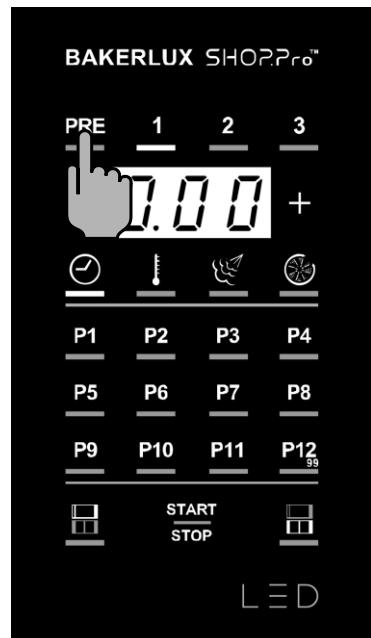
1. 予熱を設定してください

本機に食材を入れて調理する前に、予熱で庫内を温めて置くと、食材の調理ムラを抑えることができます。

予熱を設定する場合は、「PRE」スイッチを押してください。

「PRE」スイッチのランプが点灯し、ディスプレイに「0」が表示されます。

予熱の温度設定が可能になります。



「-」スイッチ、または「+」スイッチを押して、温度の値を変更してください。

温度の値は、「0」(°C)～「260」(°C)まで、1(°C)刻みで変更できます。(初期値「0」(°C))

予熱の温度設定は、「ステップ1」で設定する温度に対して、プラス30°Cの温度に設定してください。

メモ

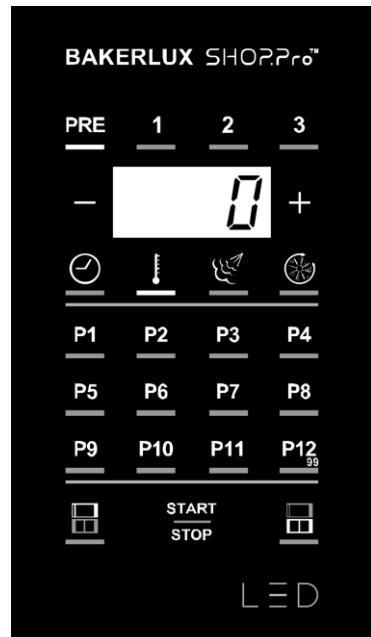
「-」スイッチ、または「+」スイッチを押して、温度の値を変更する方法とは別に、ディスプレイをタップして温度を選択することもできます。

温度は、タップする場所により決まっています。

一の位をタップ：220 (°C)

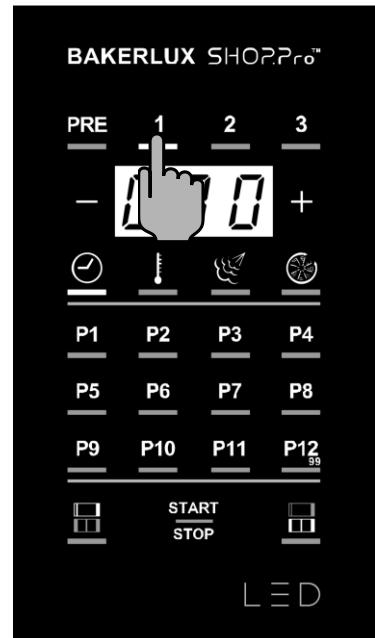
十の位をタップ：180 (°C)

百の位をタップ：150 (°C)



2. 「ステップ1」スイッチを押してください

「ステップ1」の設定可能状態になります。



3. 調理時間を設定してください

「-」スイッチを押してください。

「-」スイッチのランプが点灯し、時間設定が可能になります。

「-」スイッチ、または「+」スイッチを押して、調理時間の値を変更してください。

時間の値は、「0.00」(0:00)～「9.59」(9:59)まで、1分刻みで変更できます。(初期値「0.00」(0:00))

メモ

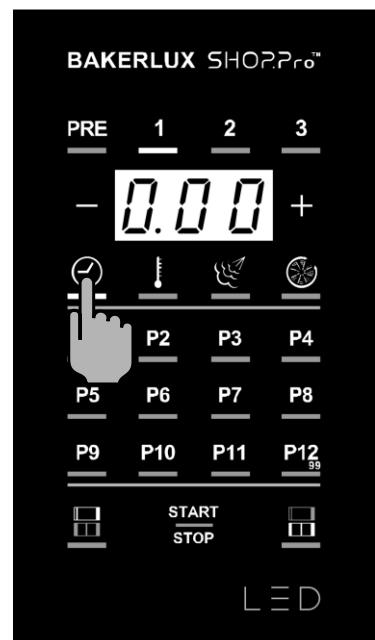
「-」スイッチ、または「+」スイッチを押して、調理時間の値を変更する方法とは別に、ディスプレイをタップして調理時間を選択することもできます。

調理時間は、タップする場所により決まっています。

一の位をタップ：「1.00」(1:00)

十の位をタップ：「0.40」(0:40)

百の位をタップ：「0.20」(0:20)



調理時間の値が、「0.00」(0:00)の状態で「-」スイッチを押す、または「9.59」(9:59)の状態で「+」スイッチを押すと、「inF」と表示され連続調理の設定になります。



4. 調理温度を設定してください

「」スイッチを押してください。

「」スイッチのランプが点灯し、調理温度の設定が可能になります。

「－」スイッチ、または「+」スイッチを押して、調理温度の値を変更してください。

調理温度の値は、「0」(°C)～「260」(°C)まで、1°C刻みで変更できます。(初期値「180」(°C))

メモ

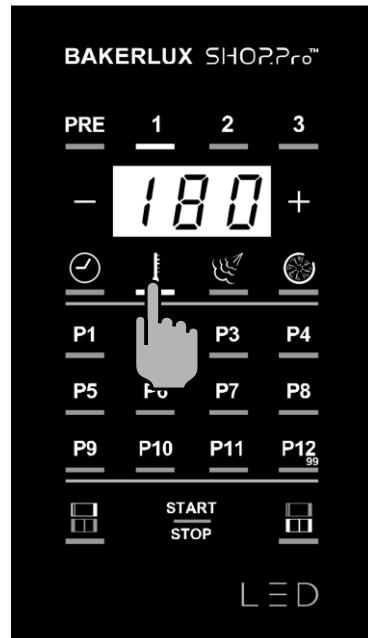
「－」スイッチ、または「+」スイッチを押して、調理温度の値を変更する方法とは別に、ディスプレイをタップして調理温度を選択することもできます。

調理温度は、タップする場所により決まっています。

一の位をタップ：220 (°C)

十の位をタップ：180 (°C)

百の位をタップ：150 (°C)



5. 加湿を設定してください

加湿を設定した場合、調理中に庫内温度が90°C以上になると、庫内に蒸気が発生されます。

「」スイッチを押してください。

「」スイッチのランプが点灯し、加湿の設定が可能になります。

「－」スイッチ、または「+」スイッチを押して、加湿の値を変更してください。

加湿の値は、「0」(%)～「100」(%)まで、20(%)刻みで変更できます。(初期値「0」(%))

メモ

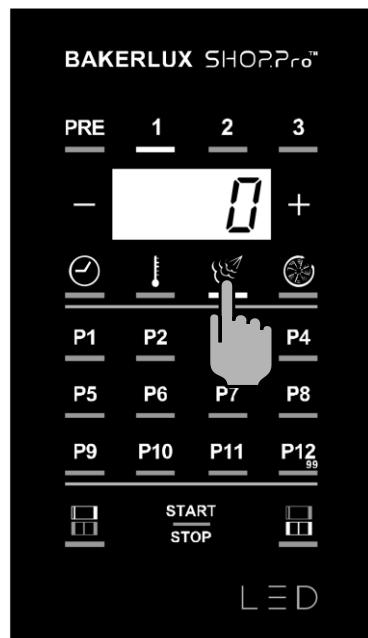
「－」スイッチ、または「+」スイッチを押して、加湿の値を変更する方法とは別に、ディスプレイをタップして加湿の値を選択することもできます。

加湿は、タップする場所により決まっています。

一の位をタップ：「20」(%)

十の位をタップ：「60」(%)

百の位をタップ：「100」(%)



6. 庫内ファンのファン速度を設定してください

「」スイッチを押してください。

「」スイッチのランプが点灯し、ファン速度の設定が可能になります。

「－」スイッチ、または「+」スイッチを押して、ファン速度の値を変更してください。

ファン速度の値は、「2」、「1」、「0」で切り替えることができます。（初期値「2」）

ファン速度「2」…100%

ファン速度「1」…ファン速度「2」の50%

ファン速度「0」…ファン速度「2」または「1」のパルス回転

パルス回転は、調理中、庫内温度が設定温度を超えた場合、庫内ファンの回転が止まり、ヒーターの通電も止まります。

庫内温度が設定温度より1°C以上低くなると、再びヒーターに通電され、庫内ファンが回転します。

設定した時間内、この動作を繰り返します。

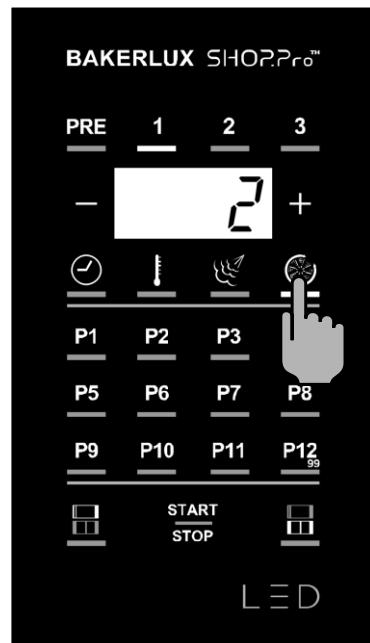
ファン速度は、庫内温度が80°C～200°C間のときはファン速度「1」、庫内温度が80°C未満または200°Cを超えているときはファン速度「2」となります。

メモ

「－」スイッチ、または「+」スイッチを押して、ファン速度を変更する方法とは別に、ディスプレイをタップしてファン速度を選択することもできます。

ファン速度は、タップする場所により決まっています。

百の位をタップ：「0」、十の位をタップ：「1」、一の位をタップ：「2」



7. 次のステップの設定をおこなってください

次のステップを設定する場合は、操作パネル部上部の「ステップ2」スイッチを押して、ステップを切替えてください。

「ステップ1」と同様に、各設定をおこなってください。

調理時間を設定してください。

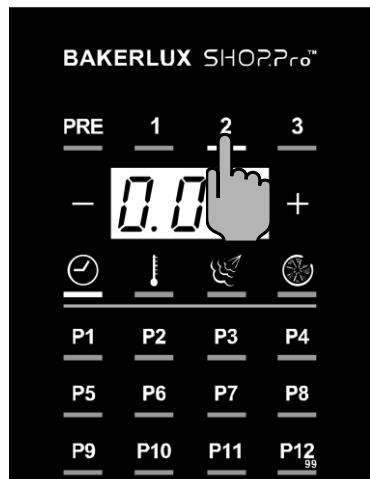
調理温度を設定してください。

加湿を設定してください。

庫内ファンのファン速度を設定してください。

調理のステップは、3件（ステップ3）まで設定することができます。

次のステップの設定をおこなわない場合は、「食材を調理する」（16ページ）に進んでください。



8. 各ステップの設定が完了しましたら調理を開始してください

調理の設定内容に時間と調理温度を設定しているときは、「食材を調理する」（16ページ）を参照して調理をおこなってください。

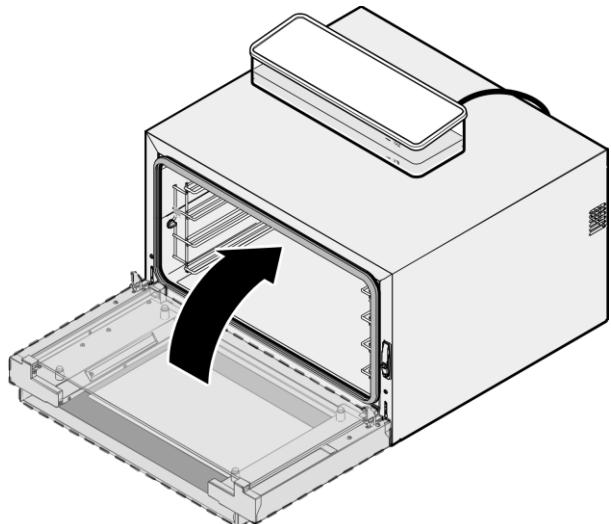
調理の設定は、調理プログラムとして、本機に保存しておくことができます。

調理の設定を調理プログラムとして保存する場合は、「設定した調理内容を保存する」（19ページ）を参照してください。

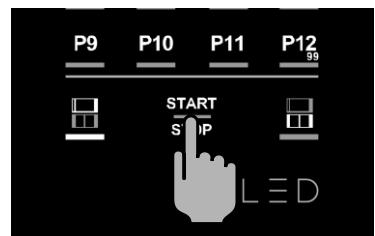
食材を調理する

ここでは、調理の設定を使用する調理手順について説明します。

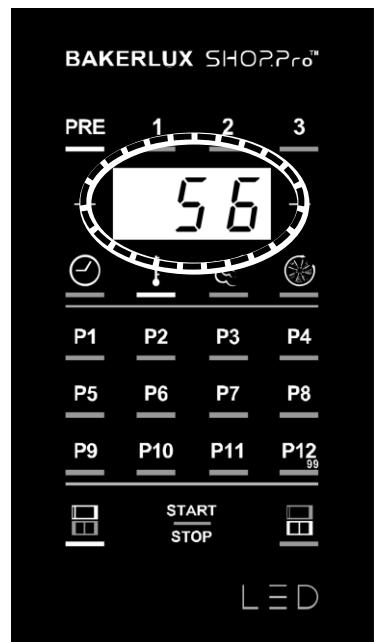
1. 本機の扉を閉めてください



2. 「START/STOP」スイッチを押して、調理を開始してください



予熱が始まり、ディスプレイに予熱の設定温度(点滅)と現在の庫内温度(点灯)が交互に表示されます。



予熱が終了すると、「ピーピー…」とブザーが鳴ります。

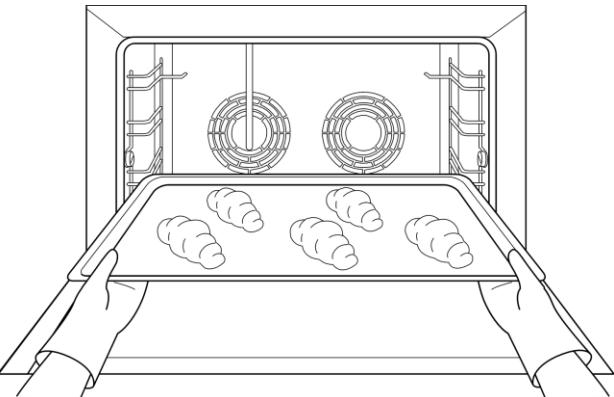


予熱が始まって直ぐに、ブザーが鳴ることがあります。

これは、すでに庫内が「PRE」で設定した温度以上になっているからです。

3. 食材を庫内に入れてください

本機の扉を開け、天板に乗せた食材を庫内に入れてください。



4. 扉を閉めてください

調理が始まり、ディスプレイに調理時間が表示されます。
調理中、ディスプレイに表示には、合計調理時間(点灯)とステップの調理時間(点滅)が交互に表示されて、カウントダウンされます。

メモ

調理の途中でも、設定内容を確認することや変更することができます。

調理を途中で止める場合は「START/STOP」スイッチを3秒間長押しすると、止まります。

調理中、貯水タンクの水が少なくなったときは補充してください。



調理が終了すると、「ピー…」とブザーが鳴ります。

ブザーは、「START/STOP」スイッチを長押しするか、扉を開けると止まります。

また、ブザーが鳴っている状態のまま約45秒間経過すると止まります。

ブザーが止まると、操作パネル部は通常の待機状態になります。



5. 扉を開けて食材を取り出してください

△ 警告



調理終了後、扉を開けるときは、一気に開けずに徐々に開けること

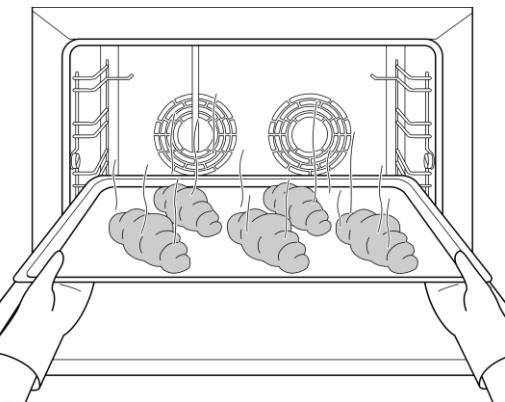
扉を開けたとき、自動的にモーターブレーキが作動してファンが停止しますので、熱気や蒸気が大量に流出することはありませんが、安全のために扉は一気にあけないでください。

熱気や蒸気がかかりますと、やけどの原因になります。



調理完了直後の天板は、素手で持たないこと

調理完了直後の天板は、高温になっているため、素手で持ちますとやけどします。



設定した調理内容を保存する

本機は、設定した調理内容を調理プログラムとして保存することができ、必要なときに呼び出して使用することができます。

よく使う調理は、調理プログラムとして保存しておくと、調理のたびに各設定（ステップ、時間、温度、加湿など）をする手間が省けます。

調理プログラムが保存されているスイッチは、ランプが点灯します。

ここでは、設定した調理内容を調理プログラムとして保存する方法について説明します。

調理プログラムは、最大99件まで保存することができます。

1. 調理内容を設定してください

「調理内容の設定をおこなう」（12ページ）を参照してください。

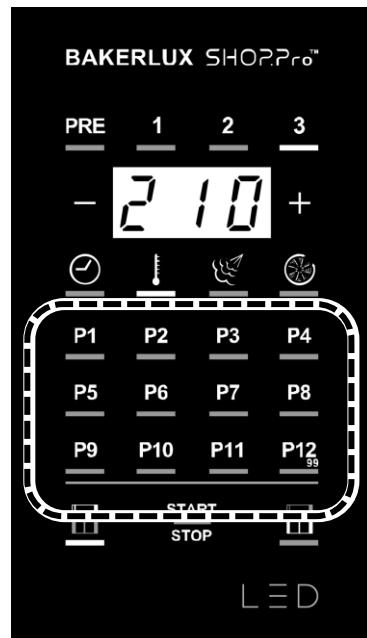
2. 設定した調理プログラムを保存してください

保存したい調理プログラムスイッチを約2秒間長押してください。ブザーが「ピッ」と鳴って、その調理プログラムスイッチに保存されます。

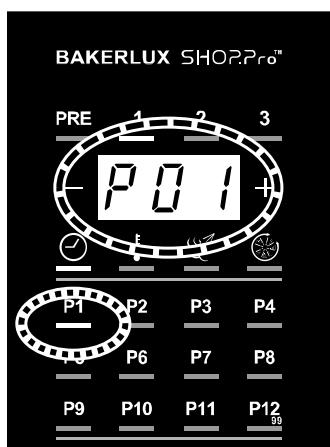
調理プログラムスイッチのランプが点滅すると保存は完了です。

メモ

すでに調理プログラムが保存されているスイッチ（スイッチのランプが点灯している）を押した場合は、調理プログラムの内容が上書きされます。



右は調理プログラムを「P1」スイッチに保存した場合の表示例です。



通常の待機状態に戻るには、再度同じ調理プログラムスイッチを押してください。

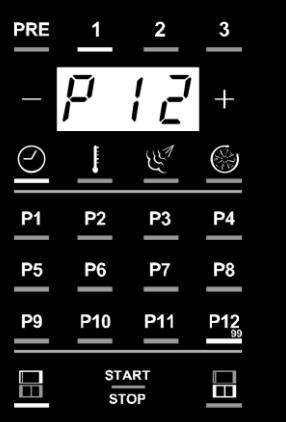
「P12」～「P99」のいずれかに調理プログラムを保存する場合

調理内容を設定してください。

「調理内容の設定をおこなう」（12ページ）を参照してください。

「P12」スイッチを約2秒間長押ししてください。

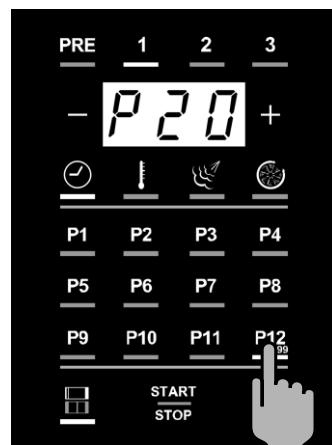
ディスプレイに「P12」が点滅で表示され、スイッチのランプが点滅します。



「+」スイッチを押して任意の番号を選択してください。

再度「P12」スイッチを約2秒間長押ししてください。

ブザーが「ピッ」と鳴って、調理プログラムが保存されます。



通常の待機状態に戻るには、再度「P12」スイッチを押してください。

メモ

「P01」～「P11」スイッチは、調理プログラムが保存されているスイッチのランプが点灯しますが、「P12」～「P99」は、調理プログラムが保存されているかどうかが見た目にわかりにくいため、お客様にて調理プログラムが保存されている場所を記録していただくことをおすすめします。

保存した調理プログラムを使って調理する

ここでは、お客様が本機に保存した調理プログラムを使って調理をする方法について説明します。

調理プログラムの保存方法については、「設定した調理内容を保存する」（19ページ）を参照してください。

よく使う調理プログラムは、あらかじめ保存しておくことで、調理のたびにステップの設定（時間や温度、加湿、ファン速度など）をする手間が省けます。

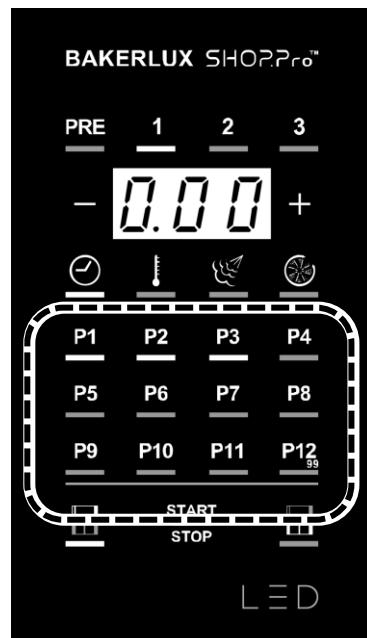
1. お好みの調理プログラムスイッチを選んで押してください

ディスプレイに調理プログラムの番号が表示されます。

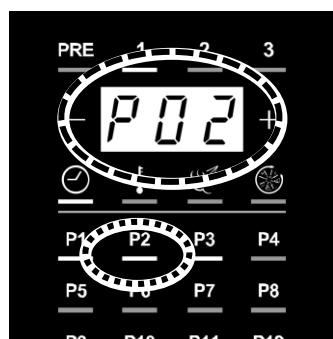
押した調理プログラムスイッチのランプが点滅します。

「P12」～「P99」の範囲に保存された調理プログラムを使う場合は、「P12」スイッチを押すと、ディスプレイに「P12」が表示されます。

「+」スイッチを押して任意の調理プログラムの番号を選択してください。

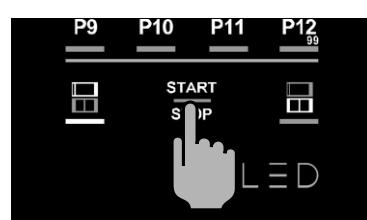


右は調理プログラムの「P02」スイッチを押した場合の表示例です。



2. 「START/STOP」スイッチを押してください

調理が開始されます。



調理については、「食材を調理する」（16ページ）を参照してください。

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、必ず「お手入れ」をおこなってください。

⚠ 警告



本機には直接水や洗剤をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

庫内を清掃する洗剤は、必ず付属のオーブンクリーナーをご使用ください。

オーブンクリーナーがなくなりましたら、お買い上げ店にご注文ください。

オーブンクリーナーは、高温や直射日光を避け、なるべく冷所で保管してください。

オーブンクリーナーは、子供の手の届くところには、置かないでください。

次亜塩素酸を含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、錆の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きしますと、錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使い、入れすぎないようにしてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、樹脂の部品を損傷します。

洗剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

ここでは、ベーカリーオーブンの清掃方法について説明します。

お願い

扉には、水や洗浄剤などを直接かけないでください。

操作パネル部にかかりますと、故障の原因になります。

操作パネル部や扉、ガラスには強い力をかけないようにしてください。

強い力をかけますと、操作パネル部や扉、ガラスが破損する原因になります。

庫内を清掃する際、扉を開けた状態で、強い力をかけないようにしてください。

扉やガラスを破損する原因になります。本機が倒れる原因にもなります。

1. 本機専用電源を『OFF (切)』にし、水道栓を閉めてください

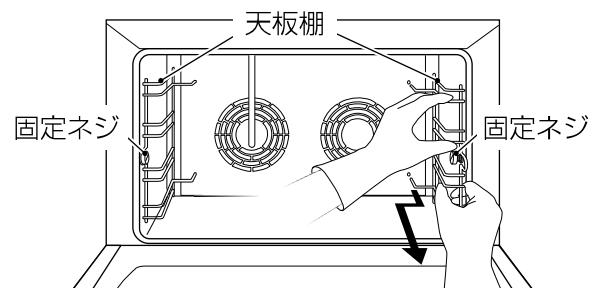
2. 庫内が60°C以下になるまで待ってください

3. 天板棚を取り外して清掃してください

天板棚は、固定ネジをゆるめてから手前に引き出し、庫内より取り外してください。

取り外した天板棚は、付属のオーブンクリーナーを染み込ませた布で汚れをきれいに拭き取ってください。

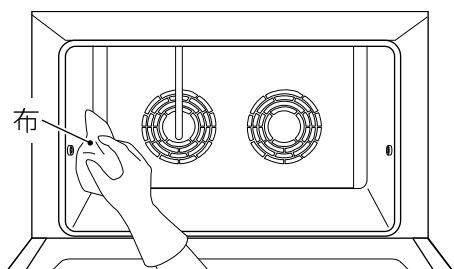
清掃後は、きれいな水で絞った布で洗剤成分を十分に拭き取ってください。



4. 庫内を清掃してください

庫内は、付属のオーブンクリーナーを染み込ませた布で汚れをきれいに拭き取ってください。

清掃後は、きれいな水で絞った布で洗剤成分を十分に拭き取ってください。



5. 扉の清掃をしてください

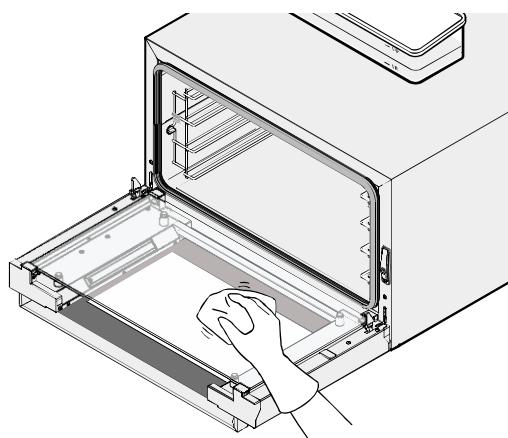
扉の二重ガラスの内側の清掃は、扉上部のすき間から手を入れて清掃してください。

中性洗剤を布やスポンジなどに染みこませて、内側のガラスと2枚のガラスの内側をきれいに拭いてください。

水を含ませた布などで、洗剤成分を十分に拭き取ってください。

乾いた布で残っている水分をきれいに拭き取ってください。

扉の清掃後は、閉めておいてください。

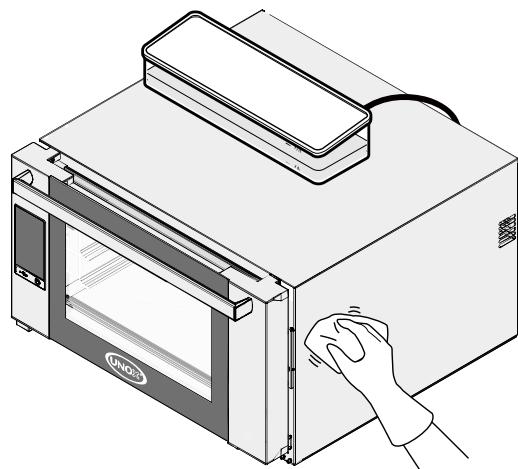


6. 本体外装の清掃をしてください

中性洗剤布を布やスポンジなどに染みこませて、本機の外装をきれいに拭いてください。

水を含ませた布などで、洗剤成分を十分に拭き取ってください。

乾いた布で残っている水分をきれいに拭き取ってください。



7. 貯水タンク、給水チューブ、ストレーナーを洗浄してください

お願い

貯水タンク内に残っている水を捨てるときは、本機に水がかからないように注意してください。
水が機械内部に入りますと、故障の原因になります。

貯水タンクは、食器洗浄機などは使用しないでください。
高温で洗浄すると、変色や変形の原因になります。

8. 庫内に天板棚を元どおり取り付けてください

9. 庫内が乾燥してから扉を閉めてください

調理プログラムについて

ここでは、保存した調理プログラムの修正やコピー、削除の方法について説明します。

保存した調理プログラムの設定内容の確認と修正

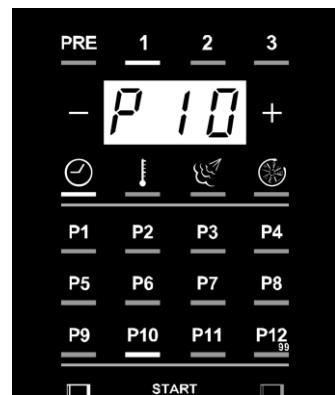
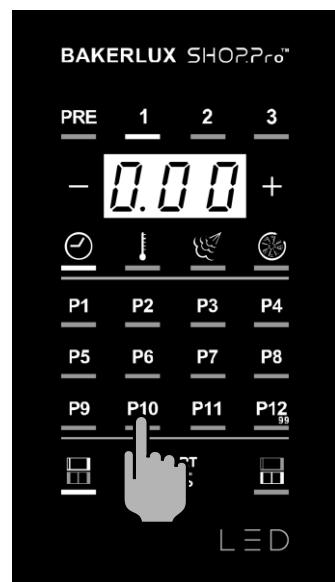
調理プログラムスイッチに保存した調理プログラムの内容は、後から確認したり、修正したりすることができます。

ここでは、保存した調理プログラムの内容の確認と修正方法について説明します。

1. 確認したい、または修正したい調理プログラムを選択してください

調理プログラムの番号が表示されます。

右は調理プログラムスイッチの「P10」を押した場合の例です。

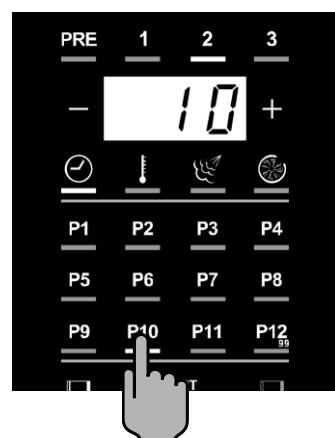


2. 設定内容を確認または修正してください

設定内容の確認だけの場合は、設定内容の確認後、同じ調理プログラムスイッチを押してキャンセルしてください。

設定内容を修正した場合は、同じ調理プログラムスイッチに上書き保存してください。

通常の待機状態に戻るには、再度同じ調理プログラムスイッチを押してください。



保存した調理プログラムのコピー

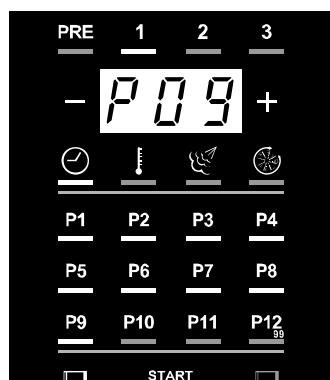
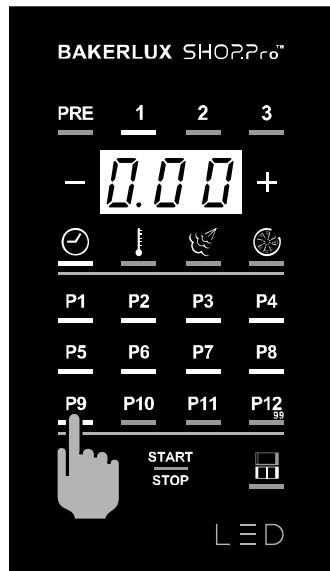
保存した調理プログラムの内容は、他の調理プログラムスイッチにコピーすることができます。

ここでは、保存した調理プログラムの内容をコピーする方法について説明します。

1. コピーしたい調理プログラムスイッチを押してください

調理プログラムの番号が表示されます。

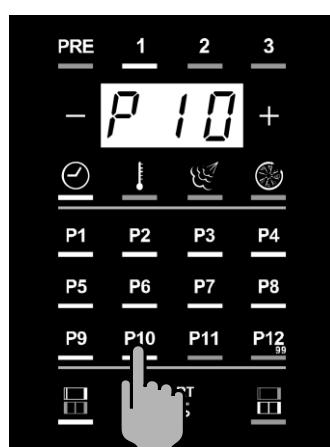
右は調理プログラムスイッチの「P09」を押した場合の例です。



2. 調理プログラムのコピーを保存してください

空いている調理プログラムスイッチを約2秒間長押して調理プログラムを保存してください。

これで、調理プログラムのコピーは完了です。



通常の待機状態に戻るには、再度同じ調理プログラムスイッチを押してください。

保存した調理プログラムの削除

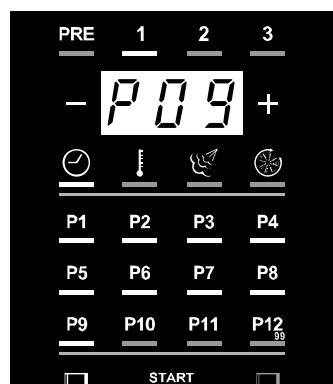
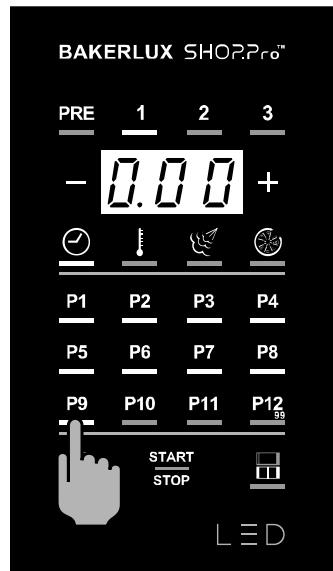
保存した調理プログラムは、削除することができます。

ここでは、保存した調理プログラムを削除する方法について説明します。

1. 削除したい調理プログラムを選択してください

調理プログラムの番号が表示されます。

右は調理プログラムスイッチの「P09」を押した場合の例です。

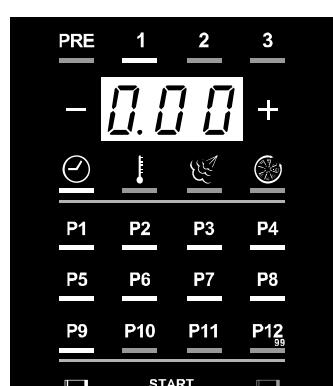


2. ステップ1の調理時間を「0.00」にしてください

「ステップ1」スイッチを押してください。

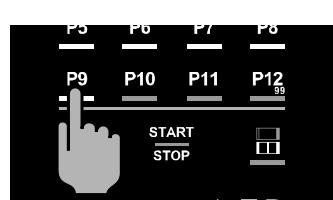
「(時計)」スイッチを押して、調理時間を表示させてください。

「-」スイッチ、または「+」スイッチを押して、調理時間の値を「0.00」(0:00)にしてください。



3. 同じ調理プログラムスイッチに上書き保存してください

これで、スイッチの調理プログラムの削除は完了です。



ホイロ庫（オプション）

オプションのホイロ庫を使うことでパン生地の発酵をうながすことができます。

ホイロ庫は、ベーカリーオーブンに接続してお使いいただく機械です。

ホイロ庫の操作は、ベーカリーオーブンの操作パネル部でおこないます。

ホイロ庫でパン生地の発酵

1. ホイロ庫の専用電源を『ON（入）』にしてください

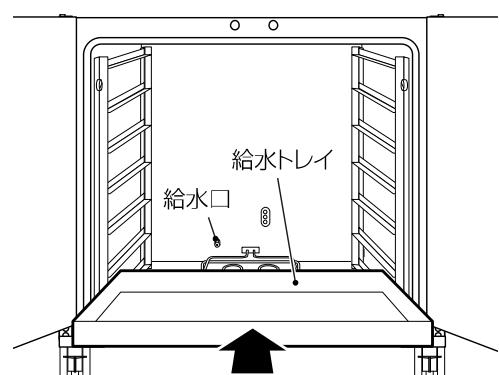
ベーカリーオーブンの専用電源が『ON（入）』になっていることも確認してください。

2. ホイロ庫の庫内に給水トレイを入れてください

ホイロ庫の扉を開けて、給水トレイを庫内一番下の棚に
しっかりと奥まで差し込んでください。

お願い

給水トレイを庫内から出し入れするときは、庫内奥にある給水口を破損しないように注意してください。



3. 給水トレイに水を入れてください

給水トレイには、2L～7Lの範囲内の水を入れてください。

範囲を超える水は入れないでください。

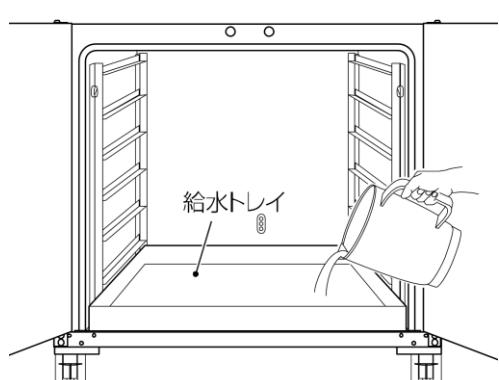
範囲を超える水を入れると、給水トレイから水があふれ出て、庫内底部分に流れ落ちます。

給水トレイに水を入れましたら扉を閉めてください。

お願い

ホイロ庫で調理をおこなう前に、必ず給水トレイには水を入れておいてください。

給水トレイに水が入っていない状態で、調理をおこないますと、ヒーターの熱で給水トレイが変形します。



メモ

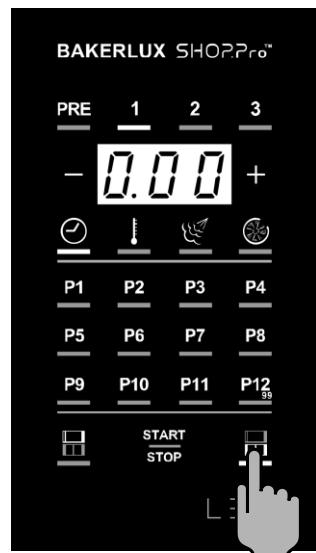
給水トレイにお湯または熱湯を入れると予熱にかかる時間を短縮することができます。

4. オープンの操作パネル部の「」スイッチを押してください

スイッチのランプが点灯して、ホイロ庫の操作に切り替わります。

オプションのホイロ庫を接続していない場合は、「」スイッチを押してもスイッチのランプは点灯しません。

ホイロ庫の専用電源が『OFF (切)』になっている場合は、ディスプレイに「A08」と表示されて、ホイロ庫の操作はできません。



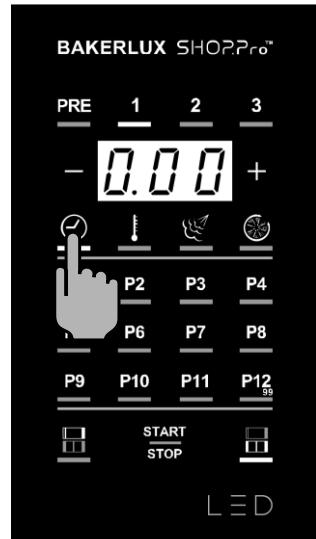
5. 調理時間を設定してください

「」スイッチを押してください。

「」スイッチのランプが点灯し、時間設定が可能になります。

「-」スイッチ、または「+」スイッチを押して、調理時間の値を変更してください。

時間の値は、「0.00」(0:00)～「9.59」(9:59)まで、1分刻みで変更できます。(初期値「0.00」(0:00))



メモ

「-」スイッチ、または「+」スイッチを押して、調理時間の値を変更する方法とは別に、ディスプレイをタップして調理時間を選択することもできます。

調理時間は、タップする場所により決まっています。

一の位をタップ：「1.00」(1:00)

十の位をタップ：「0.40」(0:40)

百の位をタップ：「0.20」(0:20)

調理時間の値が、「0.00」(0:00)の状態で、「-」スイッチを押す、または「9.59」(9:59)の状態で、「+」スイッチを押すと、「inF」と表示され連続調理の設定になります。



6. 調理温度を設定してください

「」スイッチを押してください。

「」スイッチのランプが点灯し、調理温度の設定が可能になります。

「-」スイッチ、または「+」スイッチを押して、調理温度の値を変更してください。

調理温度の値は、「0」(°C)～「50」(°C)まで、1°C刻みで変更できます。
(初期値「0」(°C))

メモ

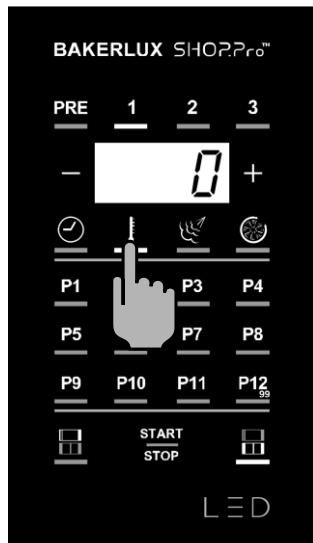
「-」スイッチ、または「+」スイッチを押して、調理温度の値を変更する方法とは別に、ディスプレイをタップして調理温度を選択することもできます。

調理温度は、タップする場所により決まっています。

一の位をタップ：40 (°C)

十の位をタップ：35 (°C)

百の位をタップ：30 (°C)



7. 次のステップの設定をおこなってください

次のステップを設定する場合は、操作パネル部上部の「ステップ2」スイッチを押してください。

次のステップの設定画面が表示されます。

「ステップ1」と同様に、各設定をおこなってください。

調理時間を設定してください。

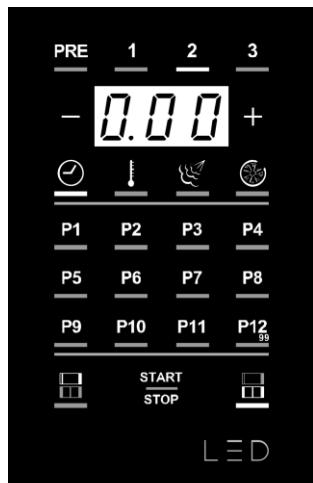
調理温度を設定してください。

調理のステップは、3件（ステップ3）まで設定することができます。

各ステップの設定が完了しましたら調理を開始してください。

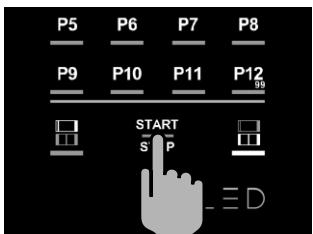
メモ

設定した調理内容は、保存できません。



8. ホイロ庫の扉を閉めて、「START/STOP」スイッチを押してください

調理（保温）が始まります。



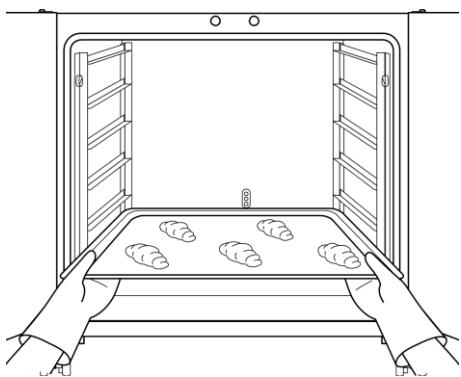
9. 調理に切り替わりましたら、ホイロ庫の庫内に食材（パン生地など）を入れてください

ホイロ庫の扉を開けて、食材（パン生地など）を乗せた天板をホイロ庫の庫内の棚に差し込んでください。

お願い

調理中、給水トレイ内の水が入っていることを確認し、水が少なくなっている場合は、水を補充してください。

給水トレイに水が入っていない状態で、調理をおこないますと、ヒーターの熱で給水トレイが変形します。食材が乾燥する原因にもなります。

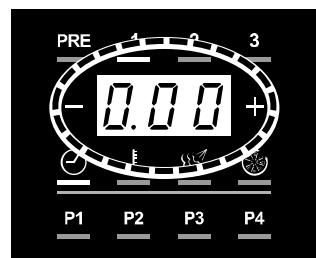


調理が終了すると、「ピー…」とブザーが鳴り、ベーカリーオーブンの庫内ランプが点滅します。

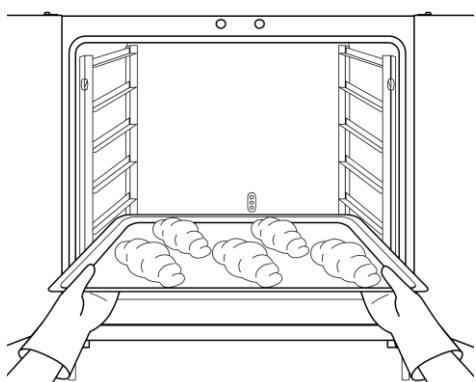
ブザーは、「START/STOP」スイッチを長押しするか、扉を開けると止まります。

また、ブザーが鳴っている状態のまま約45秒間経過すると止まります。

ブザーが止まると、操作パネル部は通常の待機状態になります。



10. ホイロ庫の庫内から食材（パン生地など）を乗せた天板を取り出してください



ご使用が終わったら、ホイロ庫のお手入れをおこなってください。

「ホイロ庫のお手入れ」（32ページ）を参照してください。

ホイロ庫のお手入れ

△ 注意



お手入れのときや、点検のときは、必ず「START/STOP」スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を『OFF(切)』にすること
誤って操作パネル部に触れた場合、ケガややけどの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。



お手入れのときや、点検のときは、本機が触ることができる温度まで冷めるのを待つこと
熱い状態で触れた場合、やけどの原因になります。

1. 本機専用電源を『OFF (切)』にしてください

調理完了直後は、給水トレイと、給水トレイ内に残った水は、熱くなっています。

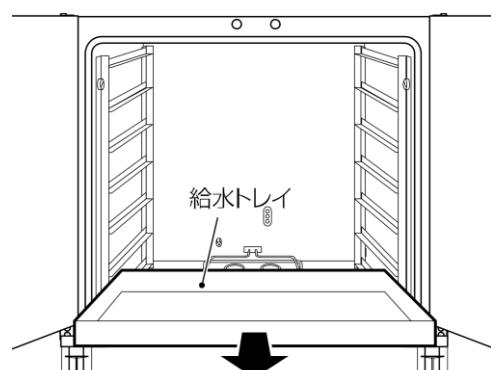
温度がある程度下がるのを待ってからお手入れを始めてください。

2. 給水トレイを取り出してください

庫内から給水トレイを取り出して、給水トレイ内に残っている水を捨ててください。

メモ

ホイロ庫には、給水トレイに残った水を排水する機能はありません。

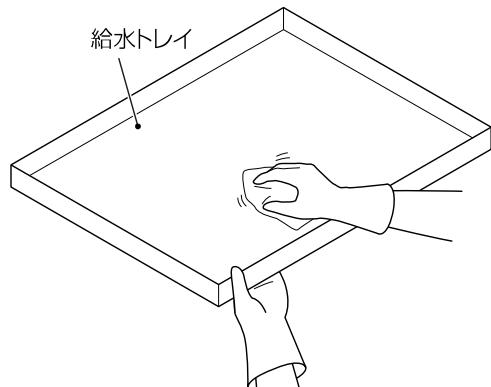


給水トレイに付着した水分などを乾いた布で拭き取ってください。

給水トレイに水分が付着した状態のまま、長時間おきますと雑菌やカビの発生の原因になります。

汚れがひどいときは、中性洗剤で洗ってください。

洗剤を使って洗浄した後は、水ですすいで洗剤成分を洗い流し、乾いた布で水分を拭き取ってください。



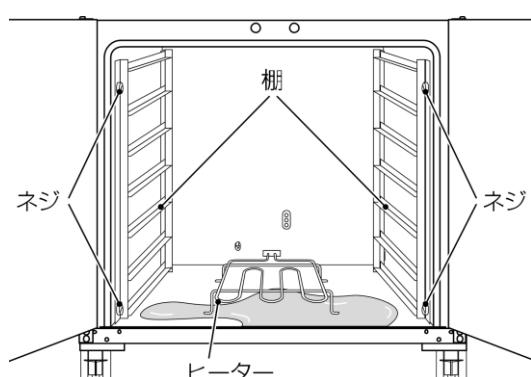
3. ホイロ庫の庫内左右にある棚を取り外して清掃してください

左右それぞれの棚を固定しているネジ（2個）を取り外してから、棚を庫内から取り出してください。

お願い

棚を取り出す際、庫内のヒーターにぶつけないでください。

ヒーターにぶつけますと、ヒーター破損の原因になります。



棚に付着した水分などを乾いた布で拭き取ってください。

棚に水分が付着した状態のまま、長時間におきますと雑菌やカビの発生の原因になります。

汚れがひどいときは、中性洗剤で洗ってください。

洗剤を使って洗浄した後は、水ですすいで洗剤成分を洗い流し、乾いた布で水分を拭き取ってください。

4. ホイロ庫の庫内を清掃してください

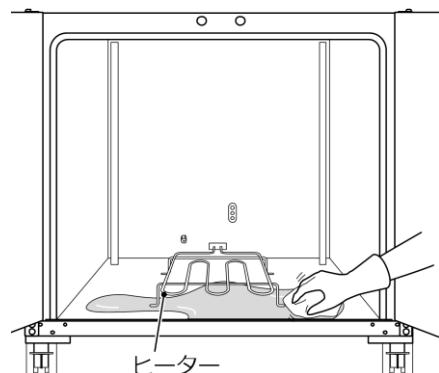
お願い

清掃の際、庫内のヒーターに強い力をかけたり、衝撃をあたえたりしないでください。

ヒーター破損の原因になります。

メモ

ホイロ庫には、庫内の底に溜まった水を排水する機能はありません。



庫内の天井や左右と奥の壁面に付着している水を拭き取ってください。

庫内底部分に溜まっている水を拭き取ってください。

5. ホイロ庫の扉と外装を清掃してください

△ 警 告



本体に直接水や洗剤をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

△ 注 意

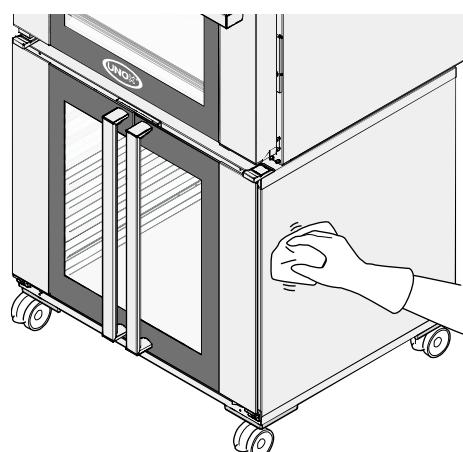


扉のガラスは、強い力をかけたり、衝撃をあたえたりしないこと
扉のガラスを清掃するときは、クレンザーや金属タワシなどは使用しないこと
ガラスを破損する原因になり、ガラスを破損した場合、ケガの原因になります。

清掃は、洗浄剤や水を布やスポンジなどに染み込ませて拭いてください。

洗剤を使って清掃した後は、水で湿らせた布などで、洗剤成分を十分に拭き取ってください。

表面に残っている水分を乾いた布などで、きれいに拭き取ってください。



6. 庫内に左右の棚を取り付け、給水トレイを元どおり庫内にセットしてください

点検

毎日の始業時と終業時におこなってください

⚠ 注意



点検のときは、必ず「START/STOP」スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を『OFF(切)』にすること
誤って操作パネル部に触れた場合、ケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。



点検のときは、本機が触ることができる温度まで冷めるのを待つこと
本機が熱い状態で触れた場合、やけどの原因になります。

下記の各項目に従って点検してください。

点検する箇所	処置の方法
ベーカリーオーブンの庫内ランプが切れていますか？	庫内ランプが切れている場合は、お買い上げ店にご連絡ください。
ベーカリーオーブン内部やホイロ庫（オプション）内部からの水漏れはありませんか？	水漏れがある場合は、お買い上げ店にご連絡ください。

故障の症状と処置

故障かなと思ったら

故障かなと思われ修理を依頼する前に、下記の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「処置」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機専用電源も『OFF（切）』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

症状	確認 / 原因	処置
本機専用電源を『ON（入）』にしたとき、操作パネル部の表示と庫内ランプが点灯しない	—	お買上げ店へ連絡してください。
本機専用電源を『ON（入）』にしたとき、庫内ランプが点灯せず、操作パネル部に何も表示されない	停電ではありませんか？ 電源コードが正しく接続されていますか？	通電するのを待ってください。 電源コードが正しく接続されている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
「START/STOP」スイッチを押しても調理を開始しない	調理時間が「0.00」になっていませんか？ 扉が開いていませんか？ 扉スイッチが破損していませんか？	調理時間を設定してください。 扉を閉めてください。 お買上げ店へ連絡してください。
加湿の設定をしているが、加湿がおこなわれない	庫内の温度が90℃より低い温度ではありませんか？ 貯水タンク内に水は、十分入っていますか？ 貯水タンク内の水の中に、給水チューブ先端のストレーナー部分は、十分浸かっていますか？ 給水チューブは正しく接続されていますか？ 給水チューブが折れ曲がっていますか？	庫内の温度が90℃以上になると加湿がおこなわれます。 水が入っていない、または少なくなっている場合は、水を補充してください。 十分に浸かっていない場合は、水の中にストレーナー部分を浸けてください。 給水チューブが正しく接続されていない場合は、給水チューブを正しく接続してください。 給水チューブの曲がりを修正するか、給水チューブを交換してください。
ホイロ庫の操作で、「START/STOP」スイッチを押しても蒸気が発生しない	給水トレイ内に水は、十分入っていますか？ 給水トレイの水は温まっていますか？	水が入っていない、または少なくなっている場合は、水を補充してください。 水が温まっていない場合は、水が温まるまで待ってください。

症状	確認 / 原因	処置
調理中、庫内温度が異常に上昇する	—	お買上げ店へ連絡してください。
調理中、庫内ランプと操作パネル部の表示が消えた	—	お買上げ店へ連絡してください。
調理中、調理が停止し、庫内ランプと操作スイッチパネルの表示が消えた	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードが正しく接続されている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
調理中、扉と本機の間から蒸気が漏れる	扉パッキンが破損していませんか？	扉パッキンが破損している場合は、お買上げ店へ連絡してください。
本機から異常音がする	本機がグラついていませんか？	本機がグラついている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
庫内から異常音がする	庫内ファンの回転に異常はありませんか？	庫内ファンの回転に異常がある場合は、お買上げ店へ連絡してください。
給水チューブが正しく接続されているのに、本機周辺に水漏れの形跡がある	—	お買上げ店へ連絡してください。
調理の仕上がりが均一にならない	庫内ファンの回転は、正回転と逆回転に切り替わっていますか？	庫内ファンの回転が切り替わらない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	庫内ファンが止まっていますか？	庫内ファンが止まったまま回転しない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
調理完了後などに鳴るブザーが鳴らない	—	お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF (切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF (切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF (切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON (入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグ(電源プラグ使用の場合)が異常に熱くなる	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする	—	お買上げ店へ連絡してください。

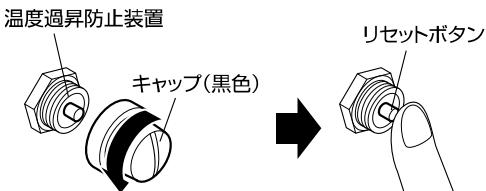
エラーコードについて

タッチパネルにエラーコードが、表示されている場合は、下記の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、電源スイッチを「OFF（切）」にし、本機専用電源を「OFF（切）」にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の際は、本機の型式名、機番、お買上げ日、エラーコード、機械の状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

エラーコード	主な原因	処置
A01	庫内ファンモーターの過負荷保護装置が作動した	本機専用電源を『OFF（切）』にし、時間を置いてから再度、本機専用電源を『ON（入）』にしてください。 症状が改善されない場合は、お買い上げ店にご連絡ください。
A02	電子サーモ（温度過昇防止装置）が作動した	オーブンの後面（電源コード取出し口近く）にある電子サーモ（温度過昇防止装置）のリセットボタンを押してください。 リセットボタンは通常、キャップ（黒色）が取り付けられていますので、ボタンを押す前にキャップ（黒色）を取り外してください。 症状が改善されない場合は、お買い上げ店にご連絡ください。
A03	庫内温度センサーの故障	お買い上げ店にご連絡ください。
A04	制御基板と電源基板間の通信エラー	お買い上げ店にご連絡ください。
A07	ホイロ庫の庫内温度センサーまたは基板の故障	お買い上げ店にご連絡ください。
A08	ホイロ庫の電力供給不足	お買い上げ店にご連絡ください。
A09	ベーカリーオーブンとホイロ庫との通信エラー	お買い上げ店にご連絡ください。
U01	ベーカリーオーブンの後面にある冷却ファンエラー	お買い上げ店にご連絡ください。
U07	ホイロ庫の後面にある電装部の過熱エラー	本機専用電源を『OFF（切）』にし、時間を置いてから再度、本機専用電源を『ON（入）』にしてください。 症状が改善されない場合は、お買い上げ店にご連絡ください。



エラーコード	主な原因	処置
U13	フードのエラー	お買い上げ店にご連絡ください。
U14	フードのエラー	お買い上げ店にご連絡ください。
U15	フードのエラー	お買い上げ店にご連絡ください。
U16	フードのエラー	お買い上げ店にご連絡ください。

据え付けについて

ここでは、本機の据え付けについて説明します。

配管用付属品

はじめに、下記の配管用付属品がそろっているか確認してください。

〈給水用付属品〉

給水チューブ（ストレーナー付） 1本
貯水タンク（蓋付） 1個

据付前の準備

本機を据え付けされるには、事前に下記の設備をお客様側にておこなっていただく必要があります。

据付場所

△ 注意



本機は、隣接面から後面（電気部品側）は400mm以上、左側面は100mm以上、右側面は300mm以上離すこと
熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。



丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること
据え付ける場所が、ガタついていたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



水をこぼしてもよい所へ据え付けること
使用中、扉を開けたときに付着した水などが床に落ちます。
貯水タンクに水を入れるときや貯水タンク内の水を捨てるとき、タンクから水がこぼれた場合、
床面などを濡らします。
濡れると不都合な所には、据え付けないでください。



熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと
熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。

本機の上方にファン付き排気フードを設備してください

建設基準法や厨房設備技術基準に準拠してください。

ファン付き排気フードは、機械の上方および、扉の開閉時の庫内蒸気や熱風を十分に排気できるよう
に、機械の前面を囲むように設備してください。

振動のない所へ据え付けてください

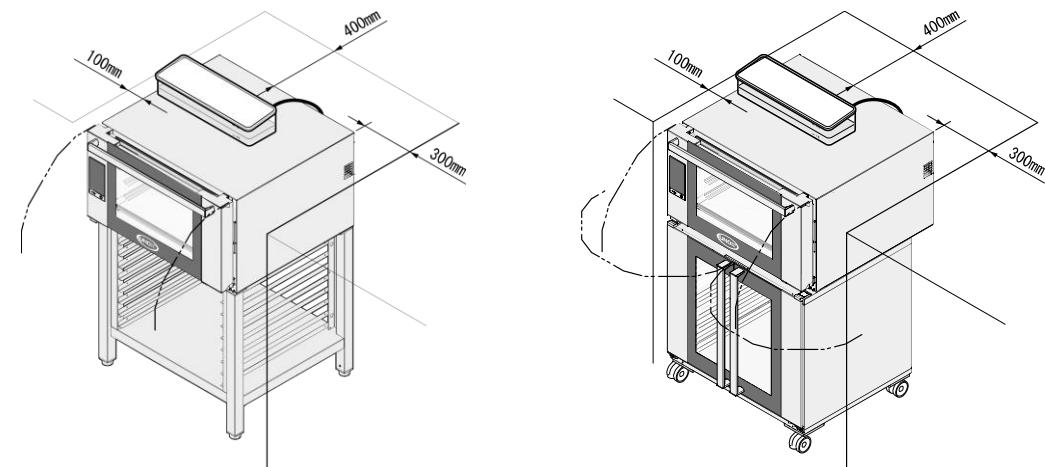
本機の前は、操作パネル部の操作、扉の開閉、食材の出し入れに支障がない十分なス
ペースを確保してください。

本機は、隣接面から後面（電気部品側）は400mm以上、左側面は100mm以上、右側面は300mm以上離してください

熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。

本機の右側面は、修理などで人が後面側に回り込む際のスペースとして必要です。

貯水タンク内の水を破棄するときの作業スペースとしても必要です。



ホイロ庫（オプション）を使用する場合

直射日光の当たる所や、機械の周囲の温度が32°Cを超える高温の場所には据え付けないでください

高温になると、電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

フライヤー、グリルなど発熱する機械の熱源の近くには、据え付けないでください

他の機器類とは、適当な距離を空け、必要な空気の循環を確保してください。

高温になると、電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

近くに熱源がある場合は、対策が必要ですので、お買い上げ店にご相談ください。

電源

⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アース線を必ず接続すること

アース線は、必ずアース端子に接続してください。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

設備側にアース端子がない場合は、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

電気容量

ベーカリーオーブン

XFT-136	単相200V	3.5kVA	17.5A
XFT-196	三相200V	9kVA	26A
	単相200V	9kVA	35.5A

ホイロ庫

XLT-136	単相200V	1kVA	5A
XLT-196	単相200V	1kVA	5A

本機の電源は、必ず本機専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーを設備してください

本機の据え付け場所に近いところで、操作しやすい位置に設備してください

電源コードの長さ：約2.5m

アース線を接続する端子を設けてください

アース端子がない場合は、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

据付け

本機の設置

オーブンは、水平で丈夫なカウンター、または据付台などに据付けてください。
専用設置台（オプション）を購入されている場合は、専用設置台を用意してください。
ホイロ庫（オプション）を購入されている場合は、ホイロ庫を用意してください。

専用設置台(オプション)を使用する場合

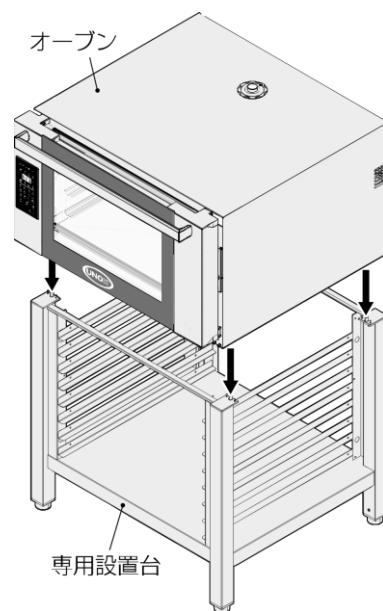
1. 専用設置台を設置場所に置いてください

専用設置台アジャスト脚を調整して、レベル調整をおこなってください。

2. 専用設置台の上にオーブンを乗せてください

専用設置台の柱上部のストッパー（4箇所）が、オーブン底裏面の穴（4箇所）にはまるようにして乗せてください。

本機の底裏面を専用設置台側から、付属のネジで固定してください。



ホイロ庫(オプション)を使用する場合

ホイロ庫のコントロールケーブルをオーブンに接続してください。

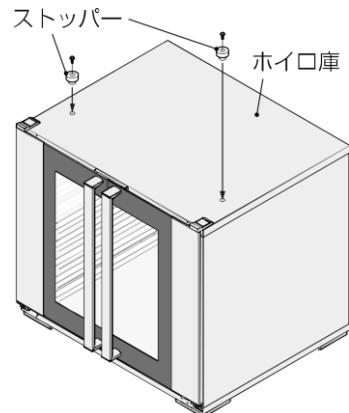
ホイロ庫の操作は、ベーカリーオーブンの操作パネル部でおこないます。

ホイロ庫のコントロールケーブルをベーカリーオーブンに接続しないと、ホイロ庫の操作をおこなうことではありません。

ここでは、ホイロ庫のコントロールケーブルをベーカリーオーブンに接続する方法について説明します。

1. ホイロ庫の天板に付属のストッパーを取り付けてください

ホイロ庫の天板にある穴に、付属のストッパーを取り付け、M4ネジで固定してください。

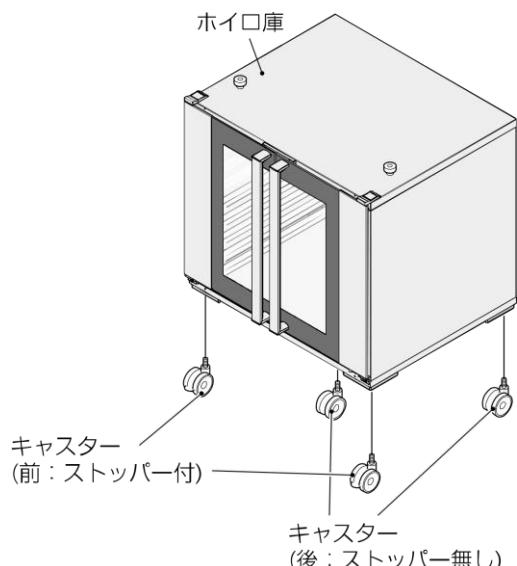


2. ホイロ庫にキャスターを取り付けてください

ホイロ庫を持ち上げて、底面にある取り付け位置(4箇所)にキャスターを取り付けてください。

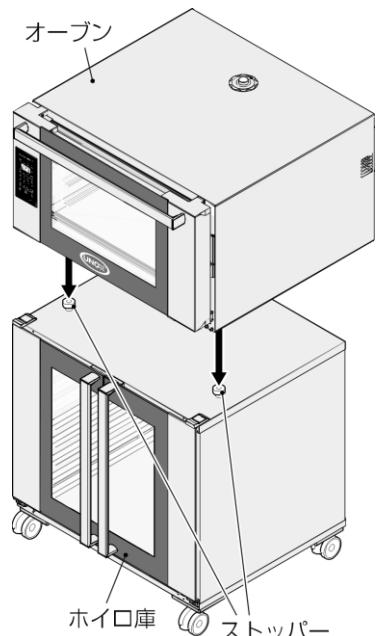
お願い

ストッパーが付いているキャスター2個を前側に取り付けてください。

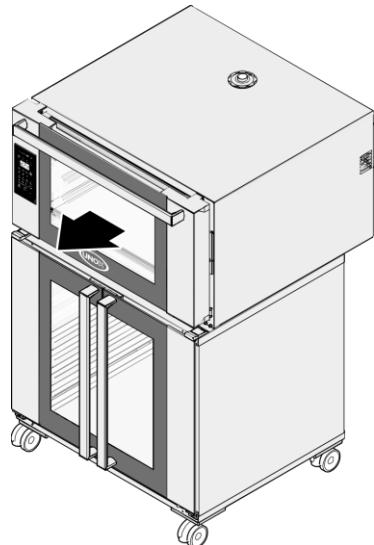


3. ホイロ庫の上にオーブンを乗せてください

ホイロ庫上部のストッパー(2箇所)が、オーブン底裏面の穴(2箇所)にはまるようにして乗せてください。

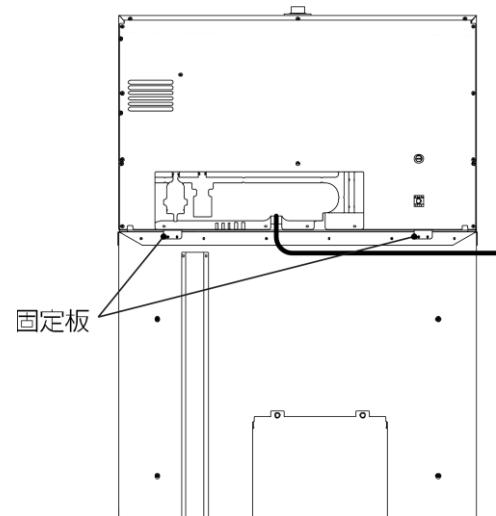


ホイロ庫にオーブンが乗りましたら、オーブンのみを前側にずらしてストッパーに固定してください。



4. ホイロ庫とベーカリーオーブンを固定板で固定してください

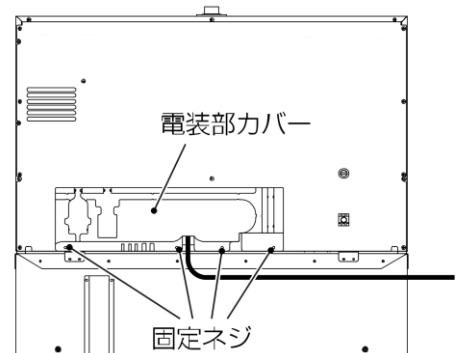
ホイロ庫に付属の固定板（2枚）をホイロ庫の後面上部に取付けて固定ネジ（各4本）で固定してください。



5. オーブン後面の電装部カバーを取り外してください

電装部カバーを固定している固定ネジ（4箇所）を外し、電装部カバーを取り外してください。

電装部カバーは、下方向にずらしてから取り外してください。



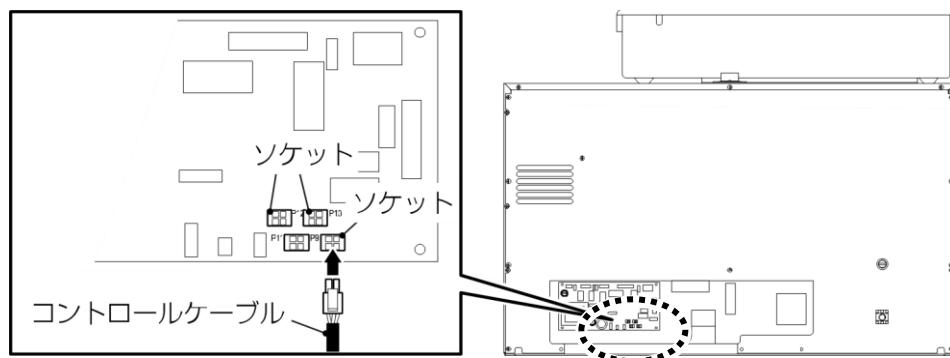
6. ホイロ庫のコントロールケーブルのコネクターをオープンの基板に接続してください

右の図を参考に基板のソケット「P9」、「P10」、「P11」のいずれかに、コントロールケーブルのコネクターを差し込んでください。

お願い

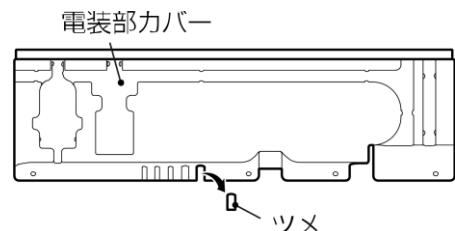
他のソケットには差し込まないでください。

故障の原因になります。



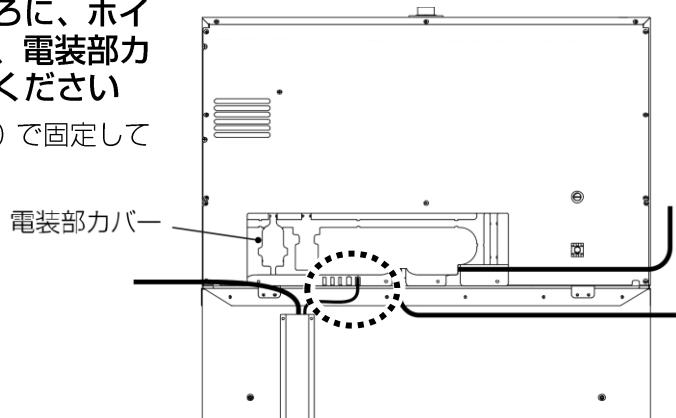
7. 電装部カバーに、ホイロ庫のコントロールケーブルを通す部分のツメを切り取ってください

ツメは、手で簡単に切り取ることができます。



8. 電装部カバーのツメを切り取ったところに、ホイロ庫のコントロールケーブルを通して、電装部カバーをオープンに元どおり取り付けてください

電装部カバーを取り付けて、固定ネジ（4本）で固定してください。



9. 本機を設置場所に置いてください

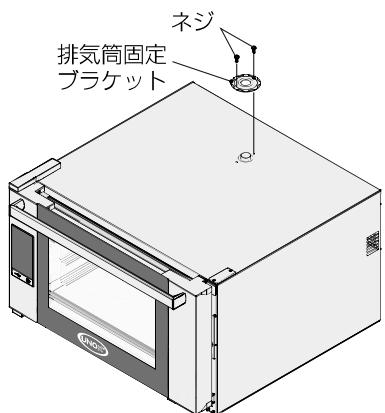
設置後、前側のキャスター2個のストップバーをロックしてください。

貯水タンクの取り付け

1. 本機の天板に貯水タンク取付金具を取付けてください

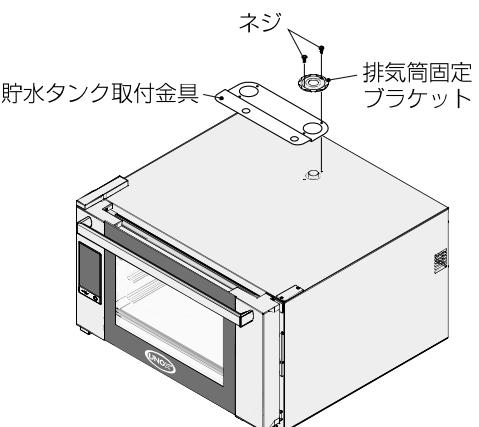
ベーカリーオーブンの上部にある排気筒の排気筒固定ブラケットのネジ2本を外し、排気筒固定ブラケットを取り外してください。

貯水タンク取付金具は、右寄り、または左寄りに取り付けることができます。
お好みで、どちらかを選んでください。



ベーカリーオーブンの排気筒に、貯水タンク取付金具の穴がはまるようにして、貯水タンク取付金具を取り付けてください。

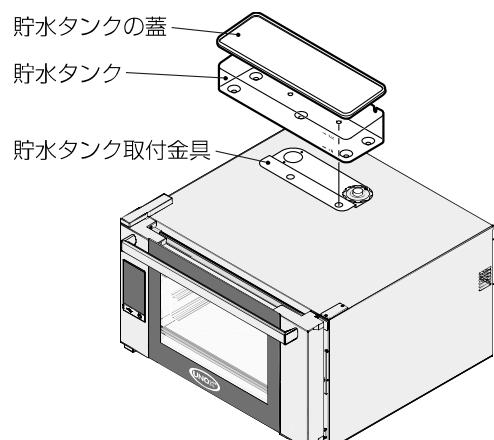
排気筒固定ブラケットを取り付けて、ネジ2本で固定してください。



2. 貯水タンクを取り付けてください

貯水タンク取付金具にある穴（2箇所に）に合うように、貯水タンクの底の突起（2箇所）をはめ込んでください。

本機の給水チューブを貯水タンクに差し込んでください。
ホイロ庫（オプション）を使用する場合は、ホイロ庫の給水チューブをベーカリーオーブンの貯水タンクに差し込んでください。



ベーカリーオーブン、またはホイロ庫（オプション）ご使用になるときは、貯水タンクに水を入れてください。

電源とアースの配線

△ 警 告



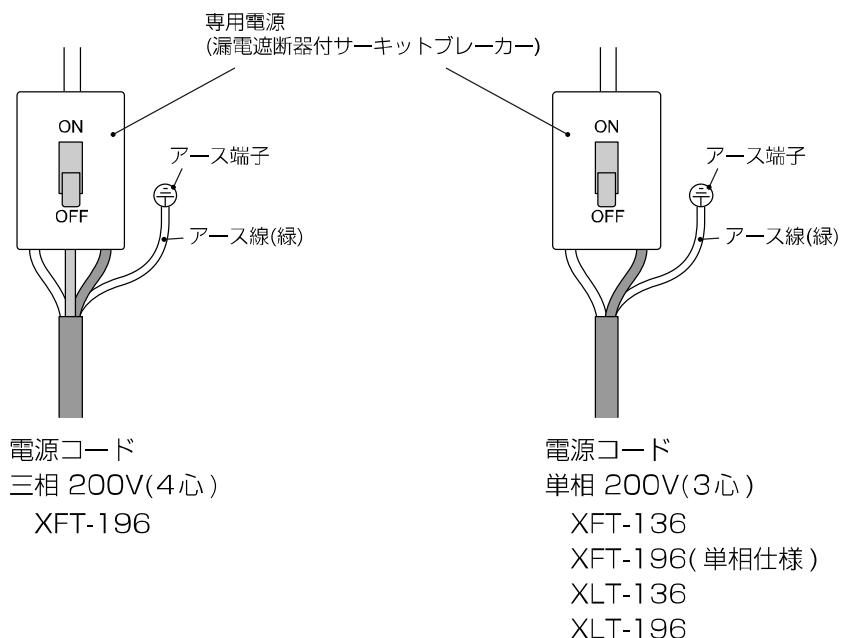
本機の電源コードを専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に接続前に、漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備が『OFF(切)』になっているか確認すること

漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備が『ON(入)』の状態で、電源コードの接続作業をおこなった場合、感電する恐れがあります。

1. 電源コードを専用の漏電遮断器付サーキットブレーカー等に直接接続してください

お願い

電源コードを本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください。



2. アース線（緑色の線）をアース端子に接続してください

据付後の動作確認

据え付けの作業が終了しましたら、本機が正常に動作するか確認してください。

1. 水道栓を開いてください

2. 本機専用電源を『ON（入）』にしてください

操作パネル部のディスプレイに「LED」を表示した後、「0.00」が表示されます。
庫内ランプが点灯します。



3. 動作を設定してください

「調理内容の設定をおこなう」（12ページ）に従って、下記の内容を設定してください。

ステップ1

 時間	: 10分 (0.10)
 庫内温度	: 100°C
 加湿	: 100%
 ファン速度	: 2

ステップ2

 時間	: 3分 (0.03)
 庫内温度	: 150°C
 加湿	: 0%
 ファン速度	: 1

4. 「START/STOP」スイッチを押して動作させ、正常に動作するか確認してください

下記の動作がおこなわれるか確認してください。

ステップ1、ステップ2とも庫内ファンが回っていますか？

ステップ1のとき、庫内に加湿されていますか？

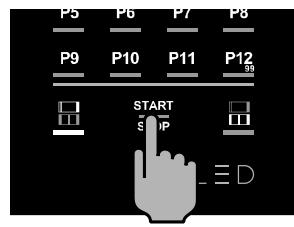
ステップ1、ステップ2とも庫内温度が設定値まで上昇しますか？

本機後面の給水接続部に水漏れはありませんか？

本機の扉付近から蒸気は漏れていませんか？

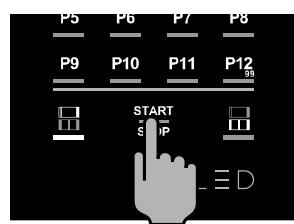
ステップ2のとき、庫内から蒸気は排出されていますか？

ステップ1からステップ2に切り替わる際、ファンの速度は変わりましたか？



動作に問題がなければ、本機の動作確認は完了です。

「START/STOP」スイッチを3秒間長押しして機械を止めてください。



動作に問題があるときは、「START/STOP」スイッチを3秒間長押しして機械を止め、給水チューブ、または電源コードが正しく接続されているかを確認し、誤った接続部分があれば直してください。

⚠ 警告



本機の配管、または電源コードの接続をやり直すときは、本機専用電源を『OFF（切）』にしてからおこなうこと
本機専用電源が『ON（入）』になっていますと、感電の原因になります。

給水チューブ、および電源コードが正しく接続されているにもかかわらず、動作が正常におこなわれない場合は、本機専用電源を『OFF（切）』にしてから、お買上げ店に連絡してください。

5. 電源を切るには、本体専用電源（漏電遮断機付サーキットブレーカー）を『OFF（切）』にしてください

これで据付け完了です。

仕様

品 名	ベーカリーオーブン [ウノックス]	
型 式	XFT-136	XFT-196
外 形 寸 法	幅 600・奥行 647・高さ 482mm (突起物を含む 奥行 720・高さ 612mm) (扉開時 奥行1054mm)	幅 800・奥行 790・高さ 482mm (突起物を含む 奥行 863・高さ 612mm) (扉開時 奥行1195mm)
電 源	単相 200V 50/60Hz	三相 200V 50/60Hz (単相可)
電 流	17.5A	26A (単相時 35.5A)
消 費 電 力	3.5kW	7kW
電 気 容 量	3.5kVA	9kVA
ファンモーター	230V	230V×2
ヒ ー タ ー	3.2kW	3.2kW×2
安 全 装 置	温度過昇防止装置	
温度設定範囲	30~260°C (予熱「PRE」は 0~260°C)	
タ イ マ ー	1分~9時間59分、または無限(inF)	
材質	本 体	ステンレス
	扉	ステンレス、耐熱ガラス
	庫内ファン	ステンレス
給 水 方 式	貯水タンク式	
給 水 接 続 口	内径φ6 給水チューブ	
収 納 天 板 数	4枚	4枚
天 板 サ イ ズ	幅460×奥行330mm	幅600×奥行400mm
質 量	39kg	57kg
庫 内 寸 法	幅 495・奥行 365・高さ 335mm (間口を基準にした寸法)	幅 695・奥行 460・高さ 335mm (間口を基準にした寸法)
電 源 コ ド (長さ、径)	2PNCT 2mm ² 3心 長さ2.5m	2PNCT 5.5mm ² 4心 長さ2.5m

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

品 名	ホイロ庫[ウノックス]	
型 式	XLT-136	XLT-196
外 形 寸 法	幅 600・奥行 667・高さ839mm (突起物を含む 奥行 717mm・高さ 851mm) (扉開時 奥行 957mm)	幅 802・奥行 745・高さ840mm (突起物を含む 奥行 795mm・高さ 852mm) (扉開時 奥行 1128mm)
電 源	単相 200V 50/60Hz	
電 流	5A	5A
消 費 電 力	1kW	1kW
電 気 容 量	1kVA	1kVA
ヒ ー タ ー	1200W	1200W
安 全 装 置	電子サーモ	
温度設定範囲	0~50°C	
材質	本 体	ステンレス
	扉	耐熱ガラス
給 水 方 式	貯水タンク式	
給 水 接 続 口	内径φ6 給水チューブ	
収 納 天 板 数	8枚	8枚
天 板 サ イ ズ	幅460×奥行330mm	幅600×奥行400mm
質 量	35kg	40kg
庫 内 寸 法	幅 490・奥行 537・高さ613mm (間口を基準にした寸法)	幅 625・奥行 610・高さ574mm (間口を基準にした寸法)
電 源 コ ド (長さ、 径)	2PNCT 1.25mm ² 3心 長さ2.5m	

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

ホイロ庫は、ベーカリーオーブンに接続してお使いいただく機械です。

ホイロ庫の操作は、ベーカリーオーブンの操作パネル部でおこなうため、ホイロ庫単体では使用できません。

付属品

天板棚	1 セット
貯水タンク（蓋付）	1 個
専用洗浄剤『オープンクリーナー』 500mL	1 本
取扱説明書（本書、据付け手順説明）	1 冊
保証書	1 部

オプション

天板 XFT-136 / XLT-136用（幅460×奥行330mm）

天板 XFT-196 / XLT-196用（幅600×奥行400mm）

XFT-136用専用設置台

XFT-196用専用設置台

ホイロ庫 XLT-136 (XFT-136用)

ホイロ庫 XLT-196 (XFT-196用)

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ず記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

パッキン類	付属の洗浄剤	—
-------	--------	---

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただいております。

株式会社エフ・エム・アイ

東京:〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪:〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌:〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台:〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋:〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島:〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡:〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸:〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄:〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス 盛岡:〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国:〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島:〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場:〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

PE'

202110